

## 甲佐町住まいの復興拠点施設整備設計提案（プロポーザル）作成要領

### 1 プロポーザルによって選定される者の設計業務

プロポーザルによって選定される者の設計業務は、甲佐町住まいの復興拠点施設整備（災害公営住宅、子育て支援住宅及び都市防災公園）に係る基本設計及び実施設計業務である（詳細は、「甲佐町住まいの復興拠点施設整備設計に係る仕様書」を確認すること）。

### 2 プロポーザルの内容

- (1) 提出書類は、別添の書式により作成すること。
- (2) 用紙の大きさは様式1～様式4-2、様式6及び様式8はA4版タテ、様式5及び様式7はA3版ヨコとすること。
- (3) 様式3に記載する主要業務の実績とは、提出者が所属する建築士事務所が主体的に関わったもののなかから、代表的なものを5つ以内で記入すること。
- (4) 様式4-1及び様式4-2に記載する業務実績とは、当該欄に記載の総括責任者又は主任技術者がこれまでに主体的に関わった設計等の業務を4つ以内で記入すること。
- (5) 様式5に記載する業務実績は、様式3に記載したもののなかから今回の設計業務に反映できる業務実績を1つ選び、施設の概要、コンセプト等、施設の特徴がわかるように記載するとともに、設計の中での課題に対する提案内容がわかるように、具体的に記載すること。
- (6) プロポーザル（様式7）には、次の項目に関して提案すること。
  - ① 「あんしん」と「あたたかさ」と「ふれあい」のある熊本型の災害公営住宅  
「熊本県災害公営住宅等整備基本理念」及び「熊本県災害公営住宅等整備指針」に基づく施設整備の考え方
  - ② 異なる用途の土地利用を考慮したゾーニング計画  
熊本地震で被災され自立再建が難しい被災者の恒久的な住まいとなる災害公営住宅と、これからの町の将来を担う若い世代の定住促進を図る子育て支援住宅を併設するため、多世代間の交流促進に配慮した施設整備の考え方
  - ③ 都市防災公園における防災・安全対策  
大規模災害を想定した防災・災害対策拠点及び一次避難場所の機能を考慮した都市防災公園の考え方
  - ④ 災害公営住宅における県産木材の活用方法と施工性の向上とコストの縮減  
被災者の痛みを最小化するような災害公営住宅を、少しでも早く、確実に提供するため、使用材料は県内で一般流通しているものを基本とし、大工手間を低減させる収まりや実現可能な合理的計画に配慮した施設整備の考え方
  - ⑤ 環境・省エネ・コスト  
イニシャルコストの縮減を図るとともに、環境負荷の低減・自然エネルギーの活用を配慮し、ライフサイクルコストの縮減も図ることのできる施設整備の考え方
- (7) 業務の実施方針（様式6）及びプロポーザル（様式7）の作成に当たっては、以下の事項に留意すること。
  - ① 提案は、基本的な考え方を簡潔に記述すること。
  - ② 文章を補完するために写真、イラスト、イメージ図等を使用して構わない。
  - ③ パネル化はしないこと。
  - ④ 模型の提出は不可とするが、模型写真の使用は可とする。  
なお、二次審査時には、模型の持ち込みを可とするが、模型の有無で審査結果が左右されることはない。
- (8) 概算工事費及び内訳（様式8）の提出は、一次審査通過者に限るものとし、平成29年6月28日（水）までに電子メールで提出すること。